

平成23年 5月10日

各 位

会 社 名 株式会社 アテクト
代表者名 代表取締役社長 小高 得央
(J A S D A Q ・ コード 4 2 4 1)
問い合わせ先
責任者役職名 管理ディヴィジョンリーダー
氏 名 飯野 磨
T E L (072) 967 - 7000 (代表)

中期経営計画のローリングについて

当社グループは、2010年1月29日に開示しました、中期経営計画について、下記のとおり、見直しましたので、その概要をお知らせいたします。

記

1. 見直しの背景と理由

当社グループは、毎年、事業環境を考慮し時代の変化に対応するために、中期経営計画の見直しを行っております。

また、2010年4月1日から2011年3月31日迄のこの1年間の環境の変化は激しく、世界の政治経済情勢において、さまざまな問題が発生しており、石油等の原材料調達、為替レート、市場動向などビジネスの軸が大きく変動する状況が起こっております。

さらに、本年3月11日に発生しました東日本大震災によって、日本経済のマイナス成長が予想され、サプライ・チェーンの分断等により世界経済への悪影響が予測されるところであります。

以上の理由により、当社グループは中期経営計画の見直しを行っております。

2. 基本方針について

当社グループの基本方針は以下の5項目であります。

- (1) 新規事業の強化(PIM事業、ポリマー微粒子事業、プラスチック造形事業)
- (2) 既存事業の構造転換
- (3) グローバル展開での市場売上拡大
- (4) 新規顧客開拓の強化
- (5) グループ総力での生産性向上及び資産の有効活用の推進

当社グループにおける現在のところ主軸事業は半導体資材事業と衛生検査器材事業であります。この2つの事業は既存事業として、収益構造の柱となり経営の安定的基盤であります。PIM(パウダー・インジェクション・モールドィング)事業、ポリマー微粒子事業、プラスチック造形事業の3事業につきましては、新規事業として位置づけ、将来の中核事業として大きく成長する事業と考えております。

3. 重点施策

上記方針に基づき、2011年3月期の各事業の業績を考慮しながら、次の施策をグループを挙げて推進してまいります。

(1) 半導体資材事業

前年度は、需要増の市況から一転し、液晶テレビやフラットディスプレイ市場で、在庫調整による生産調整局面へ入り需要が大きく減少した一年でした。同時に市場も日本国内から、海外にシフトし、台湾、韓国を中心としたエリアに集約されました。

当社グループは、2006年に韓国に、そして2010年11月に台湾に現地法人を設立し、市場攻略のための拠点展開を完了しております。

このグローバルな拠点展開とともに、導電性及び透明性に優れたコーティング用インクを開発し短期間のうちに優れた商品仕様の半導体保護資材フィルムの開発を行い、短期間のうちに、韓国国内で50%以上のトップシェアを取ることを目指しております。また、台湾市場におきましては、既にトップシェアをとっておりますが、新しいコーティング用インクを活用した製品で中国本土を含めた営業活動を行ってまいります。

日本国内においては、生産技術および既存商品に代わる顧客ニーズにあった新商品の開発を積極的に行い、韓国、台湾の子会社を通じ生産・販売を行い、日本、台湾、中国、韓国における不動の地位を築いてまいります。

(2) 衛生検査器材事業

顧客伸長のための営業活動を事業の基本として活動し、顧客ニーズの吸い上げを図り、事業活動を行いました。この様な活動の結果、売上高で2010年3月期を上回りました。2012年3月期以降、事業基盤としては、テレマーケティングを中心に新規顧客開拓を継続し、今後もさらに力を入れてまいります。

また、新たな事業としては情報ネットワーク技術の活用も視野に入れつつ、より顧客志向でサービス面での付加価値を向上させる取り組みを進めてまいります。

(3) PIM(パウダー・インジェクション・モールドィング)事業

PIM事業は当社グループが材料の開発段階から取り組める戦略的中核事業として事業化するための開発に注力してまいりましたが、環境・エネルギー、あるいは自動車の駆動系部品等の広い用途に高品質かつコスト競争力のある製品を供給するべく更に開発を加速し早期の収益事業化・投資回収を図ってまいります。

(4) ポリマー微粒子事業

独自に開発した複合材料を球状微粒子に加工する技術をいかし、日本国内だけでなくグローバルに製品を供給してまいります。その先駆けとして、2010年8月に中国上海市に設立した上海昂統快商貿有限公司を窓口として、中国における自動車産業市場における営業活動を展開し、トライアル株式会社製品のデファクト・スタンダード化を目指してまいります。また、インド、欧米での営業活動の強化を図ってまいります。

製品自体につきましても、従来の積層造形用材料に加え、半導体封止剤、化粧材などの開発を進め、新規分野の開拓と顧客層の拡大を図り、売上拡大を目指してまいります。

(5) プラスチック造形事業

昨年度迄に、事業としての黒字化まであと一歩のところまで来ております。今後も徹底

した生産体制の効率化を推進し、射出成形技術と金型技術の組み合わせによる提案営業を積極的に展開してまいります。今後、インサート成形、超エンブラ成形における技術や商材の開拓を進め、小ロットでも利益の出る、強い事業体質をつくってまいります。

4. 中期経営計画目標数値(連結ベース)

新中期経営計画は、第43期(2012年3月期)から第46期(2015年3月期)の4年間で連結売上高70億円(営業利益率15%)を目指すものであります。計画達成に向け、グループ一体となって、推進してまいります所存でございます。

アテクトグループ中期経営計画の数値目標

(単位：百万円)

期 項目		第43期	第44期	第45期	第46期
		(2012年3月期)	(2013年3月期)	(2014年3月期)	(2015年3月期)
売 上 高	半導体資材事業	1,564	1,630	1,730	1,800
	衛生検査器材事業	1,534	1,670	1,870	2,200
	PIM事業	128	250	500	1,000
	ポリマー微粒子事業	121	300	600	1,000
	プラスチック造形事業	316	350	600	1,000
	合計	3,663	4,200	5,300	7,000
営業利益		100	447	669	1,051
営業利益率		2.7%	10.6%	12.6%	15.0%

上記に記載した数値目標については、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであります。この数値目標には、様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの数値と異なる場合がありますので、当該情報に全面的に依拠して投資等の判断を行うことは差し控えていただきますようお願いいたします。

以 上